

# 取扱説明書

# *ProLite*

## LCD Monitor



*ProLite X1670HC*

### 重要

ご使用になる前に必ず本書をお読みになり、  
正しく安全にお使いください。  
お読みになった後は、大切に保管してください。

## 警告表示について

本書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。


 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## VCCI（電波障害自主規制）

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B  
ただし、下記のことが守られず使用された場合は、保証いたしかねますのでご注意ください。

- モニタの内部およびケーブルの改造はしないこと。
- 電源コードおよびケーブル類は付属のものを使用すること。

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りいたします。
- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載した会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本書は内容について万全を期して作成いたしました。が、万一誤りや記載もれなどお気付きの点がありましたら販売店までご連絡ください。

<b>愛情点検</b> 長年ご使用のモニタの点検を！	
	<p><b>ご使用の際 このようなことは ありませんか</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>●電源コードを動かすと、電源がONになったりOFFになったりする。</li><li>●キャビネットが異常に熱い。</li><li>●煙が出たり、こげくさい臭いがする。</li><li>●使用中に異常な音や振動などがある。</li><li>●その他の異常や故障がある。</li></ul>
⇒	<p><b>ご使用を中止してください</b></p> <p>故障や事故防止のため、電源プラグをはずし、必ず販売店またはiiyamaサポートセンターにご連絡ください。 点検・修理に要する費用などは販売店またはiiyamaサポートセンターにご相談ください。</p>

# もくじ

安全にご使用いただくために.....	1
ご使用前に.....	6
特長.....	6
標準付属品.....	6
各部のなまえ.....	7
コンピュータとの接続.....	8
コンピュータの設定.....	9
パネルの角度調節.....	9
操作手順.....	10
調整メニューの内容.....	11
スタンバイ機能.....	16
故障かなと思ったら.....	17
クリーニング.....	18
アフターサービス.....	19
保証書／保証期間について.....	19
修理サービス.....	19
リサイクル／廃棄について.....	19
付録.....	20
一般仕様.....	20
外形寸法図.....	21
対応信号タイミング.....	21



# 安全にご使用いただくために

ご使用になる前に、次の注意事項をよくお読みになり必ずお守りください。

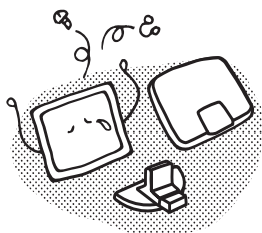
## 警告



プラグを  
抜く

### 万一、異常が発生したら

煙が出る、変な臭いや音がするなどの異常が発生したときは、すぐに電源スイッチを切り、USB ケーブルを抜いて販売店または iiyama サポートセンターに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



分解禁止

### キャビネットは外さない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットを外したり改造すると火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は販売店または iiyama サポートセンターにご依頼ください。



禁止



プラグを  
抜く

### 異物を入れない

モニタの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電または故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

万一、異物が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、USB ケーブルを抜いて販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。



禁止



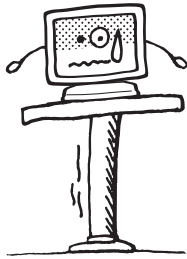
プラグを  
抜く

### 花びんやコップをモニタの近くに置かない

水やその他の液体、溶剤の入った容器をモニタの近くに置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電または故障の原因となります。

万一、水などが入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、USB ケーブルを抜いて販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。

# 警告



禁止

## 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。平らで十分に強度がある安定した場所に置いてください。



プラグを抜く

万一、モニタを落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、USB ケーブルを抜いて販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



水場での使用禁止

## 水のある場所で使わない

風呂場など水が入ったり、ぬれたりする場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。



禁止

## USB ケーブルを傷つけない

USB ケーブルの上に重いものをのせたり、モニタの下敷きにならないようにしてください。また、無理に曲げたり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。ケーブルが破損して、火災や感電の原因となります。

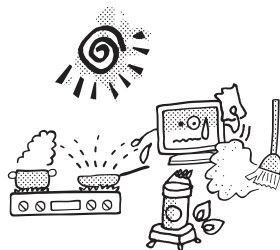


接触禁止

## 雷が鳴りだしたら、USB プラグに触れない

感電の原因となります。

## 注意



禁止

### 置き場所を選ぶ

次のような場所に置かないでください。火災や感電または故障の原因となることがあります。

- × 湿気やほこりの多い場所
- × 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- × 直射日光や照明光が直接画面にあたる場所
- × 熱器具の近く



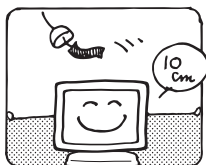
禁止

### 通風孔をふさがない

次のような使い方はしないでください。

- × あお向けや横倒し、逆さまにする。
- × 押し入れ、本箱など風通しの悪いせまい所に押し込む。
- × じゅうたんや布団の上に置く。
- × テーブルクロスなどをかける。

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために、モニタは周囲から 10cm 以上離して置いてください。



指示に従う

### 移動させるときは、外部の接続コードをはずす

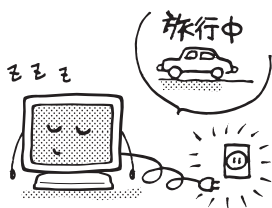
電源スイッチを切り、USB ケーブルなどの接続ケーブルをはずしたことを確認の上、移動させてください。火災や感電の原因となることがあります。



指示に従う

### 旅行などで長期間使わないときは、USB ケーブルを抜く

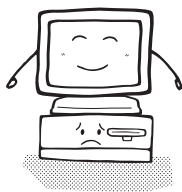
安全のため、必ず USB ケーブルを抜いてください。火災の原因となることがあります。



指示に従う

### コンピュータの上にモニタを置くとき

必ずコンピュータの取扱説明書などで強度を確認してください。コンピュータが破損する原因となることがあります。



## ⚠ 注意



指示に従う

### プラグを持って抜く

USB ケーブルを抜くときは、ケーブルを引っ張らないでください。ケーブルに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグの部分を持って抜いてください。



接触禁止

### ぬれた手で USB プラグにさわらないで

ぬれた手で USB プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



指示に従う

### 手や指に注意！

ケガの原因となることがあります。

- 角度調節の際、スタンド可動部のスキ間に指を入れな  
いでください。
- 高さ調節の際、パネル下部とスタンドの間に手を入れ  
ているときに、モニタを勢い良く下げないでください。



指示に従う

### 24 時間連続使用しないで

本製品は、24 時間連続使用することを前提として設計されておりませんので、24 時間連続して使用しないでください。



## 正しくご使用いただくために

### 目を大切に

画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約 40 ～ 60cm はなれたくらいが見やすく疲れません。使用する部屋は暗すぎると目が疲れます。適度の明るさの中でご使用ください。また、長時間画面を見続けると目が疲れますので、1 時間に 10 分程度の休息をおすすめします。

### 故障ではありません

- お使いのコンピュータによっては、画像がずれる場合があります。画面位置を正しく調整してご使用ください。
- ご使用初期において、バックライトの特性上、画面にチラつきが出る場合があります。この場合、電源スイッチをいったん切り、再度スイッチを入れなおしてご確認ください。
- 液晶モニタは、表示する色や明るさにより微小な斑点およびむらが見えることがあります。
- 画面上に常時点灯、または点灯していない画素が数点ある場合があります。これは、液晶パネルの特性によるものです。
- 液晶パネルの特性上長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面の残像（焼き付きのような症状）が発生する可能性があります。この場合、下記のいずれかの方法で徐々に改善されます。
  - ・ 画面の表示パターンを変える。
  - ・ 数時間電源を切っておく。
- 本製品に使用しているバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、販売店または iiyama サポートセンターまでお問い合わせください。

# ご使用前に

このたびは本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用になる前に本書をよく読んで正しくお使いください。

また、付属のセーフティ & クイックスタートガイドに保証書が記載されていますので、「販売店名・お買い上げ日」等の所定事項の記入及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

## 特長

- ◆ 最大 1920 × 1080 モードをサポート
- ◆ 高コントラスト 800:1(標準), Adv. コントラスト機能有 / 輝度 220cd/ m<sup>2</sup> (標準) の高性能パネル採用
- ◆ ブルーライト軽減機能搭載
- ◆ デジタルスムージング機能搭載
- ◆ 省電力設計  
スタンバイ機能搭載

## 標準付属品

モニター本体の他に、下記のものが全て含まれていることをご確認ください。

- USB-C ケーブル \*
- Micro USB ケーブル \*
- セーフティ & クイックスタートガイド / 保証書 (本紙)
- キャリーケース

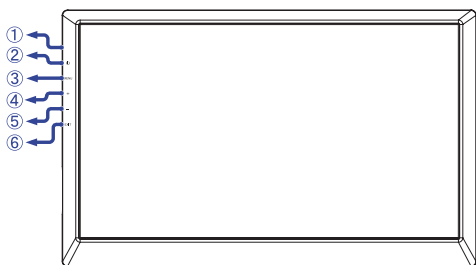
## 補足

\* 1. 次のような場合は、サポート及び保証の対象外となります。

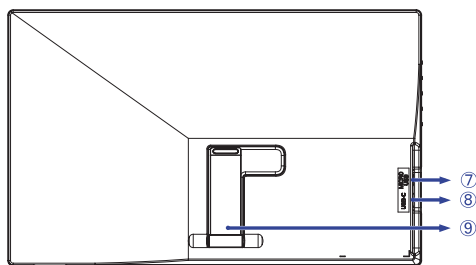
- 付属以外の USB-C ケーブル, Micro USB ケーブルをお使いになる場合
- 日本以外の国でお使いになる場合

## 各部のなまえ

前面



後面



### ① 電源インジケータ

**補足** 青色点灯：通常動作時

橙色点灯：スタンバイモード時

### ② 電源スイッチ (⏻)

### ③ メニューボタン (MENU)\*

### ④ スクロールアップ/ECO モードボタン (+)\*

### ⑤ スクロールダウン/i-Style Color ボタン (-)\*

### ⑥ Exit ボタン (EXIT)

### ⑦ USB コネクタ (MICRO USB, DC-IN)

### ⑧ USB コネクタ (USB-C, INPUT/DC-IN)

### ⑨ スタンド

\* メニュー画面を表示する手間を省き、ボタン操作で直接調整画面に入ることができます。

⎓: 直流

## コンピュータとの接続



### 注意

- コンピュータ等への取り付けや取り外しを行う場合は、必ず電源をオフにしてください。感電や故障の原因となることがあります。
- 付属のケーブル以外のケーブルを使用すると不具合が発生することがあります。

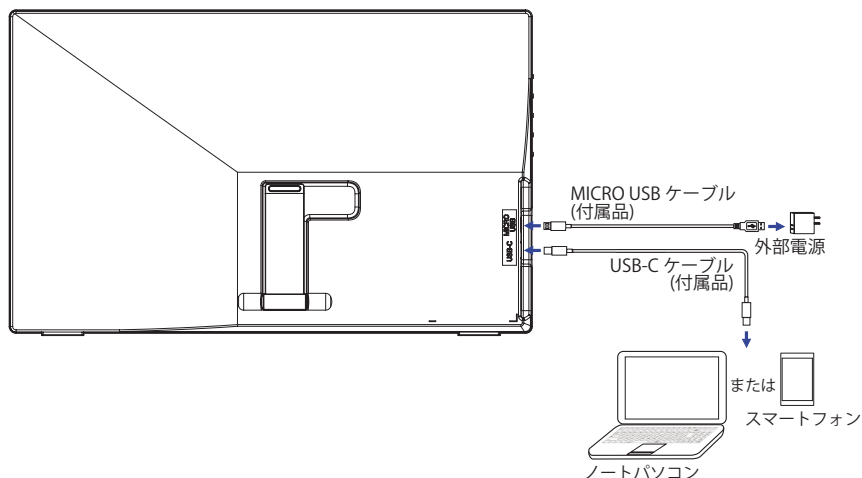
- ① モニタおよびコンピュータの電源が「OFF」であることを確認します。
- ② USB-C ケーブルをモニタとコンピュータに接続します。
- ③ 外部電源から電源供給する場合は、Micro USB ケーブルをモニタに接続します。

**補足** USB-C コネクタの種類によっては、USB-C ケーブルが接続されていてもモニタにコンピュータから十分な電源供給がされない場合があります。その場合は Micro USB ケーブルと外部電源を使用してください。(外部電源出力：DC5V, 2A 以上)

- ④ モニタおよびコンピュータの電源を「ON」します。

[ 接続例 ]

<後面>



## コンピュータの設定

### ■ 信号タイミング

本製品がサポートしているお好みの解像度（P. 21 「対応信号タイミング」参照）に設定してください。

## パネルの角度調節



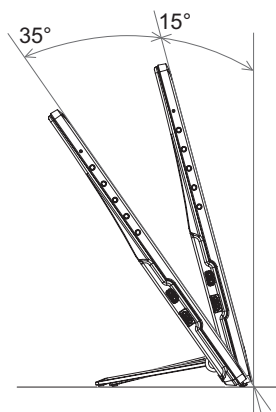
### 注意

- 角度調節の際、液晶パネル面を押さないでください。液晶パネルを破損し、最悪の場合、液晶パネルが割れるおそれがあります。
- 角度調節の際、スタンド可動部のスキ間に指を入れないでください。ケガの原因となることがあります。
- 梱包時、スタンドは収納された状態ですので、そのままの状態で使用すると転倒し故障やけがの原因となります。

■ 液晶モニタは、正面から見る画面が一番きれいに見えます。傾きを調節して、見やすい位置でご使用ください。

■ 調節範囲は上方向 15～35° です。

- ① 平らで安定した台の上に、モニタの画面が傷付かないようにやわらかい布を敷き、モニタの画面を下にして置きます。
- ② モニタを押さえながら、カチッと音がするまでスタンドを引き上げます。
- ③ モニタを起こして直立させます。画面をお好みの角度に調節します。

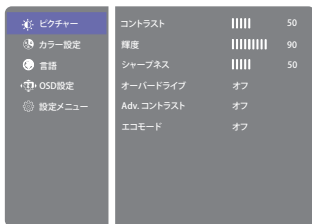


# 操作手順


P.21の「対応信号タイミング」にて、最良の状態になるようにあらかじめ調整してありますが、接続するコンピュータの種類により調整が必要になる場合があります。そのようなときは次の手順に従ってボタン操作を行ってください。

オンスクリーン表示 (OSD) の工場出荷設定言語は英語表示になっています。お好みにより言語を選択してください。なお、ここでは日本語表示で説明しています。

- ① MENU ボタンを押すと、画面にメニューが表示されます。+/- ボタンで調整項目を送ります。



- ② 調整したいアイコンがあるメニュー項目を選択し、MENU ボタンを押します。+/- ボタンで調整する項目を選択します。
- ③ 再び MENU ボタンを押し、+/- ボタンを使って調整や設定を行っていきます。
- ④ EXIT ボタンを押して終了します。  
OSD が消えると調整や設定の内容を自動的に記憶します。

例えば OSD 垂直位置を調整したいときは、まずメニュー項目の  (OSD 設定) メニューを選択し、MENU ボタンを押します。そして +/- ボタンで 垂直位置を選択し、MENU ボタンを押します。



+/- ボタンでお好みの位置に調整します。

最後に EXIT ボタンを押して終了し、設定を記憶させます。

- 補足**
- 調整中にボタン操作を中止すると、OSD タイムアウトの設定時間後に OSD が消えます。また、① ボタンを押していくと、OSD を消すことができます。
  - オンスクリーン表示が消えると同時に調整内容が記憶されます。この間に電源を「OFF」しないでください。
  - 調整項目については全ての信号タイミングに対して共通の内容が記憶されます。

## 調整メニューの内容

言語 (Language) で日本語表示を選択した場合を黒色、英語表示を選択した場合を青色にて記載しています。

ピクチャー Picture	
調整項目	画面の状態 / 調整ボタン
コントラスト *2 Contrast	弱すぎる 強すぎる
輝度 *1,2 Brightness	暗すぎる 明るすぎる
シャープネス *2 Sharpness	0 ~ 100 (ソフト→シャープ) まで設定されています。 + ボタンを押すと昇順に移動し、- ボタンを押すと降順に移動します。 1920x1080 以外の解像度のときに、表示品位を調整します。
オーバードライブ *2 Over Drive	オフ / -2 / -1 / 0 / +1 / +2 レベル (数字) が上がると応答速度が速くなります。
Adv. コントラスト *2 Adv. Contrast	オン      コントラスト比を改善します。
	オフ      標準
エコモード *2 ECO Mode	オフ      標準
	1          バックライトの明るさを抑え、消費電力を低減します。
	2          1 よりバックライトの明るさを抑え、消費電力を低減します。
	3          2 よりバックライトの明るさを抑え、消費電力を低減します。

\*1 暗い部屋などで使用していて画面がまぶしい場合は、輝度を調整してください。

\*2 機能の調整可能 / 無効については、p.15 「機能の調整可能 / 無効表」を参照してください。






### ダイレクト調整

メニュー画面を表示する手間を省き、次のボタン操作で直接設定画面に入ることができます。

- エコモード：メニュー画面を表示していない時に、+ ボタンを押します。



## カラー設定 \*1,2 Color

調整項目	画面の状態 / 調整ボタン	
クール Cool	寒色	
ノーマル Normal	標準	
ウォーム Warm	暖色	
ユーザーカラー設定 User Color	赤	弱すぎる  
	緑	
	青	強すぎる   
i-Style Color *3 i-Style Color <span style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px;">ダイレクト調整</span>	オフ	i-Style Color をオフにします。
	標準	標準
	ゲーム	ゲームをするときなどに最適です。
	映画	映画を鑑賞するときなどに最適です。
	風景	屋外の風景を表示するとき最適です。
	テキスト	文章を作成するときなどに最適です。
Blue Light Reducer *3 Blue Light Reducer	オフ	標準
	1	ブルーライトを軽減します。
	2	ブルーライトをモード 1 より軽減します。
	3	ブルーライトをモード 2 より軽減します。

\*1 i-Style Color を設定している時は i-Style Color 以外の項目は選択できません。

\*2 Blue Light Reducer を設定している時は Blue Light Reducer 以外の項目は選択できません。

\*3 機能の調整可能 / 無効については、p.15 「機能の調整可能 / 無効表」を参照してください。

### ダイレクト調整

メニュー画面を表示する手間を省き、次のボタン操作で直接設定画面に入ることができます。

- i-Style Color：メニュー画面を表示していない時に、 ボタンを押します。





## 言語 Language


調整項目	画面の状態 / 調整ボタン			
言語 Language	English	英語表示	Русский	ロシア語表示
	Français	フランス語表示	日本語	日本語表示
	Deutsch	ドイツ語表示	簡体中文	簡体中文表示
	Nederlands	オランダ語表示	繁體中文	繁体中文表示
	Polski	ポーランド語表示		



## OSD 設定 OSD Settings

調整項目	画面の状態 / 調整ボタン	
OSD 水平位置 OSD H. Position	OSD が左によっている	
	OSD が右によっている	
OSD 垂直位置 OSD V. Position	OSD が下によっている	
	OSD が上によっている	
OSD 背景 OSD Background	オン	OSD の背景を透過します。
	オフ	OSD の背景を元に戻します。
OSD 表示時間 OSD Time Out	OSD のオフタイマーを設定します。 5s / 15s / 30s / 60s	

設定メニュー  
Setup Menu

調整項目	画面の状態 / 調整ボタン	
画面モードの調整 Video Mode Adjust	フルスクリーン	全画面表示
	アスペクト比 *	アスペクト比に拡大表示
オープニングロゴ Opening Logo	オン	電源を入れたときに、ロゴを表示します。
	オフ	電源を入れたときに、ロゴを表示しません。
LED LED	オン	電源インジケータを点灯します。
	オフ	電源インジケータを消灯します。
<b>補足</b> 電源インジケータの光が気になる場合にご使用ください。		
インフォメーション Information	コンピュータのグラフィックカードから入ってくる現在の入力信号関連の情報を表示します。  <b>補足</b> 解像度とリフレッシュ速度の変更に関する詳細については、グラフィックカードのユーザーガイドをご覧ください。	
メモリーリコール Memory Recall	はい	工場出荷状態に戻します。
	いいえ	メニューに戻ります。

\* 入力信号が 4:3, 5:4 または 16:10 のときに使用できます。

## ■ 機能の調整可能 / 無効表

		調整機能							
		Adv. コントラスト	エコモード	i-Style Color	Blue Light Reducer	輝度	コントラスト	シャープネス	オーバードライブ
機能を有効にしている時	Adv. コントラスト		×	○	○	×	○	○	○
	エコモード	×		○	○	×	○	○	○
	i-Style Color	×	×		×	×	×	×	×
	Blue Light Reducer	×	×	×		×	○	○	○

○: 調整可能 ×: 調整無効

## ● ロック機能

### <OSD メニュー>

不用意な設定変更などを防ぐため、OSD メニューを表示をさせないようにします。

1. モニタの電源がオンになっていることを確認します。
2. MENU ボタンと + ボタンを同時に押し続けます。画面に “Locking OSD” が表示されて、“OSD locked” が表示され、OSD メニューの表示ができなくなります。
3. 解除するには 2 と同様の操作を行います。画面に “OSD unlocked” が表示されると OSD メニューが表示できるようになります。

### <電源スイッチ>

不用意な電源操作などを防ぐため、モニタ前面の電源スイッチ操作をできないようにします。

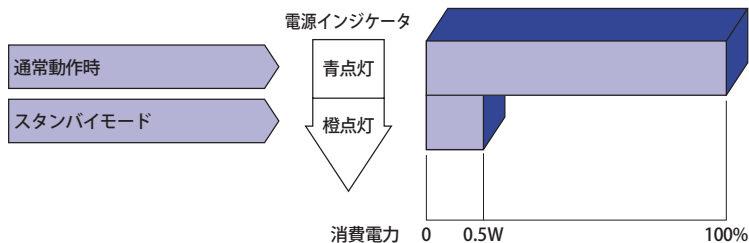
1. モニタの電源がオンになっていることを確認します。
2. EXIT ボタンと - ボタンを同時に押し続けます。画面に “Locking Power Button” が表示されて、“Power Button locked” が表示され、モニタ前面の電源スイッチ操作ができなくなります。
3. 解除するには 2 と同様の操作を行います。画面に “Power Button unlocked” が表示されるとモニタ前面の電源スイッチが操作できるようになります。

## スタンバイ機能

本製品のスタンバイ機能は、VESA DPMS の省電力に関する規格に対応しており、一定時間コンピュータを使用しないときにモニタの消費電力を自動的に抑えることができます。この機能は VESA DPMS に対応したコンピュータと接続して使用される場合のみ機能し、次のモードを備えています。モードの時間設定等はコンピュータ側で行います。

### ■ スタンバイモード

コンピュータからのビデオ信号が OFF 状態になるとスタンバイモード（消費電力 0.5W 以下）となり、画面が暗くなるとともに電源インジケータが橙色に点灯します。この状態でマウスまたはキーボードを操作すると、画面は数秒後に表示され通常動作状態に戻ります。



**補足** スタンバイモードでも電力を消費しています。夜間や週末などモニタを使用しないときは必ず電源スイッチを切り、不要な電力消費を避けてください。

# 故障かなと思ったら

「故障かな？」と思ったら次の順番で調べてみてください。

1. 「操作手順」に従い症状に合わせて調整してみてください。なお、映像が出ない場合は2へ進んでください。
2. 調整項目にない、または調整しても症状が解消されない場合は次のチェックをしてみてください。
3. もしここに記載されていないような症状が起こったり、記述通りのチェックをしても症状が消えなかったときは、モニタの使用を中止し電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げになった販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。

## 症状

## チェックポイント

- |                            |  |
|----------------------------|--|
| ① 映像が出ない<br>(電源インジケータ点灯せず) | <input type="checkbox"/> 電源コードが確実に接続されていますか？<br><input type="checkbox"/> 電源スイッチが「ON」されていますか？<br><input type="checkbox"/> 電源コンセントに電気がきていますか？ 別の機器で確認してください。   |
| (電源インジケータ青色)               | <input type="checkbox"/> ブランクスクリーンセーバーが作動中ではありませんか？ マウスやキーボードを触ってみてください。<br><input type="checkbox"/> 輝度およびコントラストが最小になっていませんか？<br><input type="checkbox"/> コンピュータの電源は入っていますか？<br><input type="checkbox"/> 信号ケーブルが確実に接続されていますか？<br><input type="checkbox"/> コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？ |
| (電源インジケータ橙色)               | <input type="checkbox"/> スタンバイモード状態ではありませんか？ マウスやキーボードを触ってください。<br><input type="checkbox"/> コンピュータの電源は入っていますか？<br><input type="checkbox"/> 信号ケーブルが確実に接続されていますか？<br><input type="checkbox"/> コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？   |
| ② 画面が乱れている                 | <input type="checkbox"/> 信号ケーブルが確実に接続されていますか？<br><input type="checkbox"/> コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？   |
| ③ 画面の位置が片寄っている             | <input type="checkbox"/> コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？  |
| ④ 画面が明るすぎる<br>／暗すぎる        | <input type="checkbox"/> コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？  |
| ⑤ 画面が揺れる                   | <input type="checkbox"/> 電源電圧は正常ですか？<br>タコ足配線はやめてください。<br><input type="checkbox"/> コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？  |

# クリーニング

**警告** ■ 万一、モニター内部に異物または水などの液体が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、USB プラグを抜いて販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電または故障の原因となります。

**注意** ■ 安全のため、必ず電源スイッチを切り、USB プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

**補足** ■ 液晶パネル表面は傷つきやすいので、硬い物でこすったり、ひっかいたりしないでください。

■ キャビネットや液晶パネルを痛めないために、次の溶剤は使用しないでください。



- ・シンナー
- ・ベンジン
- ・研磨剤
- ・スプレークリーナー
- ・ワックス
- ・酸性、アルカリ性の溶剤

■ キャビネットにゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

**キャビネット** 柔らかい布を薄い中性洗剤でわずかに湿らせて汚れを落としてください。その後乾いた柔らかい布で拭いてください。

**液晶パネル** 定期的に柔らかい布でやさしく拭いてください。ティッシュペーパー等で拭くと傷が入る恐れがありますので、使用しないでください。

# アフターサービス

## 保証書／保証期間について

- 本製品の保証書は、付属のセーフティ & クイックスタートガイドに記載されています。
- 保証書の「販売店名・お買い上げ日」などの所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- 保証期限はお買い上げ日より3年間です。  
ただし、保証期間内でも有料修理とさせていただきます場合があります。詳しくは、付属のセーフティ & クイックスタートガイドの<保証条件>をご確認ください。

## 修理サービス

- 「故障かなと思ったら」でチェックしても症状が解消されない場合は、お買い上げの販売店または iiyama サポートセンターへご連絡ください。
- 修理や点検のためモニタを輸送される時は、専用の梱包箱、クッションをご使用ください。他の梱包材料を使って輸送した場合、モニタが破損したり、故障の原因となることがあります。なおこの事由による修理は保証期間内であっても有料となります。お手元に専用の梱包材料がない場合は、送付前に必ず iiyama サポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）は、製造終了後5年間保有することを基本としております。しかし、部品によっては稀に5年間保有することができない場合や標準品とは違う同等品となる場合もございますのであらかじめご了承ください。また、補修用性能部品の5年間の保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げの販売店または iiyama サポートセンターにご相談ください。
- 修理の際に弊社品質基準に適合した再生部品を使用することがございます。あらかじめご了承ください。

## リサイクル／廃棄について

- 本製品を、ごみ廃棄場で処分される一般のごみといっしょに捨てないでください。
- 製品を弊社以外へ廃棄する際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。
- 本製品を一般家庭でご使用の場合は、弊社が無償で回収・再資源化いたします。ただし、本製品を事業所でご使用の場合は、対象外となります。
- リサイクル／廃棄の詳細については弊社ホームページをご覧ください。iiyama サポートセンター リサイクル受付へお問い合わせください。

リサイクル／廃棄についてのお問い合わせ

iiyama サポートセンター リサイクル受付

TEL 03-3570-6374



このマークが表示されている弊社製品は、弊社が無償で回収・再資源化いたします。詳細は弊社ホームページをご参照ください。  
URL:<https://www.mouse-jp.co.jp/iiyama/>

# 付録

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

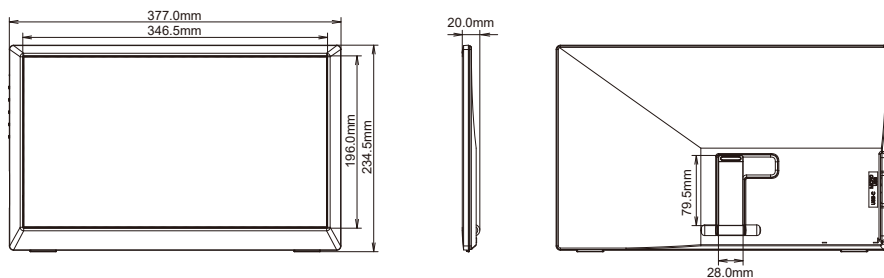
## 一般仕様

サイズカテゴリ	16 型	
液晶 パネル	パネル方式	IPS 方式パネル
	サイズ	対角 39.5cm (15.6 型)
	画素ピッチ	水平 0.179mm × 垂直 0.179mm
	輝度	220cd/m <sup>2</sup> (標準)
	コントラスト比	800 : 1 (標準), Adv. コントラスト有
	視野角	左右各 85° 上下各 85° (標準)
	応答速度	6ms (グレー↔グレー)
最大表示色	約 1677 万色	
走査周波数	水平 : 30 ~ 68kHz 垂直 : 60Hz	
解像度	1920 × 1080, 2.1MegaPixels	
サポートされている 最大解像度	1920 × 1080 60Hz	
信号入力コネクタ	USB-C (DP alt-mode), Micro USB	
プラグ&プレイ機能	VESA DDC2B™ 対応	
入力映像信号	USB-C (DP alt-mode)	
最大表示範囲	水平 : 344.2mm 垂直 : 193.6mm	
入力電源	5VDC, 2A	
消費電力 *	8W (標準), スタンバイモード時 : 0.5W (最大)	
外形寸法, 重量	377.0 (幅) × 234.5 (高) × 20.0 (奥行) mm, 0.96kg	
角度調節範囲	上方向 : 15 ~ 35°	
環境条件	動作時 :	温度 5 ~ 35°C 湿度 10 ~ 80% (結露なきこと)
	保管時 :	温度 - 20 ~ 60°C 湿度 5 ~ 85% (結露なきこと)
適合規格	PSE, VCCI	



## 外形寸法図

\* スタンドを閉じている時。



## 対応信号タイミング

ビデオモード	水平周波数	垂直周波数	ドットクロック
640 × 480	31.469kHz	59.940Hz	25.175MHz
800 × 600	37.879kHz	60.317Hz	40.000MHz
1024 × 768	48.363kHz	60.004Hz	65.000MHz
1280 × 1024	63.981kHz	60.020Hz	108.000MHz
1680 × 1050	65.290kHz	60.000Hz	146.250MHz
1920 × 1080	66.590kHz	59.930Hz	138.500MHz

## お客様の個人情報の管理および利用について

---

当社は、お客様の個人情報について、「個人情報の保護に関する法律」および「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」に準拠し、取り扱いを定めて、適切に管理、利用いたします。

当社が定める「個人情報保護方針」は、下記 URL からご確認ください。

URL <https://www.mouse-jp.co.jp/privacy/>

## IYYAMA CORPORATION

- 製品の取り扱いおよび修理についてのお問い合わせ

### iiyama サポートセンター

24 時間 365 日サポート対応

TEL 03-3570-6374

FAX 03-3570-6375

特定化学物質の含有情報は下記の弊社ホームページに記載しています。

URL: <https://www.mouse-jp.co.jp/iiyama/support/eco/jmos/>

サポートの最新情報（連絡先等）は弊社ホームページに記載しています。

お問い合わせの前に、ホームページにてご確認ください。

URL: <https://www.mouse-jp.co.jp/iiyama/>